

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報

おおづ

9
SEP2020



広報が読める
スマホアプリ
マチイロ

Public relations
OZU TOWN

広報 おおづ 2020 9

発行・編集 大津町・総務課
〒869-1292 熊本市菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293) 3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>
※ 広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物油墨を用いています。

UD FONT
見やすくて読みやすい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

今月のみどころ

その一筆が町をつくる

国勢調査 2020

今月の表紙

JR 豊肥本線が8月8日に全線開通しました。当日は「あそぼーい!」を出迎えるために、多くの住民や鉄道ファンが駆け付けました(10頁、20頁参照)。

clozu-up
Ozu-jin
クローズアップ 大津人



大林地区で整備している瀬田駅横の花壇。翔陽高校の生徒が育てた花が植えられています。



開通当日始発の時間帯に集まった皆さん



地区をボランティアで清掃する皆さん

駅が地域をつなぎ、つながりが駅を守る



花壇に花を植えた大林地区老人会の皆さん



絵の横断幕を作成した大津東小学校 1、2 年生の皆さん

はやし だ としあき
大林区 区長 林田 敏明 さん

8月8日、JR 豊肥本線瀬田駅は4年4カ月振りに復活を遂げた。地域のシンボルの復活は住民全体の願いだった。今回は代表して大林地区区長の林田敏明さんに話を伺った。

長い間ひっそりとレールだけが残り、草が生い茂る静かな瀬田駅を見ていた林田さんは当時を振り返りながらため息交じりに語る。「熊本地震は駅だけではなく、地域の在り方まで変えてしまった。一人暮らしで免許返納をしたお年寄りや学生たちは大変な苦労をしたと思います」。しかし、悪いことばかりではない。「もともと地域のつながりは強い地域だが、この期間でより絆は強くなった」その言葉が示すように瀬田駅南に作られた花壇は見事な花を咲かせている。地区の老人会によるものだ。歓迎ムードを盛り上げたいという区長の思いに、住民も応えた。「4年以上の月日で花壇には石も入り込み、地元の賛同する業者と一緒に土から入れ替えました。大変でしたが、作業する老人会の皆さんの顔が輝いていて本当にうれしかったと話す。

そして迎えた開通当日。新型コロナウイルス感染拡大防止のため大々的な呼びかけはできなかったが、「始発電車と『特急あそぼーい』に手を振ろう」という企画に早朝だけで50人、本番には100人を超える人が集まってくれた。4月以降目立った活動もなく、隣近所でも顔を合わせる機会が少なくなっていた地域に、久しぶりの笑顔が見られた。「久しぶりね」「元氣しとったね」の声に林田さんは胸があつく感じた。「列車が通るたった数秒のために集まってくれた。東小は横断幕まで手作りで作ってくれた。大津町は頑張ると元気をもらいました」。瀬田駅は地域をつなぐ宝。これからも地域で支え合いながら、守っていききたい決意が新たにされた。地区では人口減少や高齢などの課題も多いが、この地域には絆がある。地域の未来を明るくするのは「人」であることは間違いない。

からいもくん便り
大津町総合情報メール

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください (スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。



二次元バーコード

大津町公式
アカウント

友だち追加の方法
①LINEの友だち追加の画面から「@ozutown」で検索する。
②次のバーコードを読み込む。



二次元バーコード

新型コロナウイルス感染症の猛威が収まらず、不安な日々が続いているかと思いがち。私は旅行に出かけるのが好きで、いろいろな場所に行きたい欲求が溜まっています。しかし、そこはぐっと我慢して、最近の休日は自炊で初めて作る料理に挑戦してみたり、テイクアウトをしてみたりしています。皆さんもストレスが溜まらないように、感染症対策を行った上で、楽しんで過ごしましょう(暁)

つづきの声